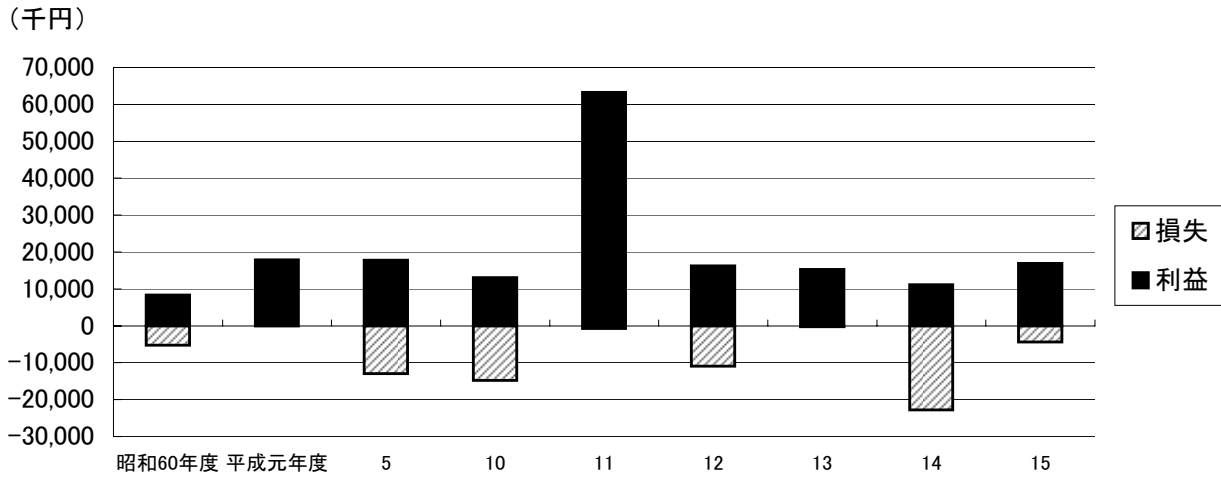


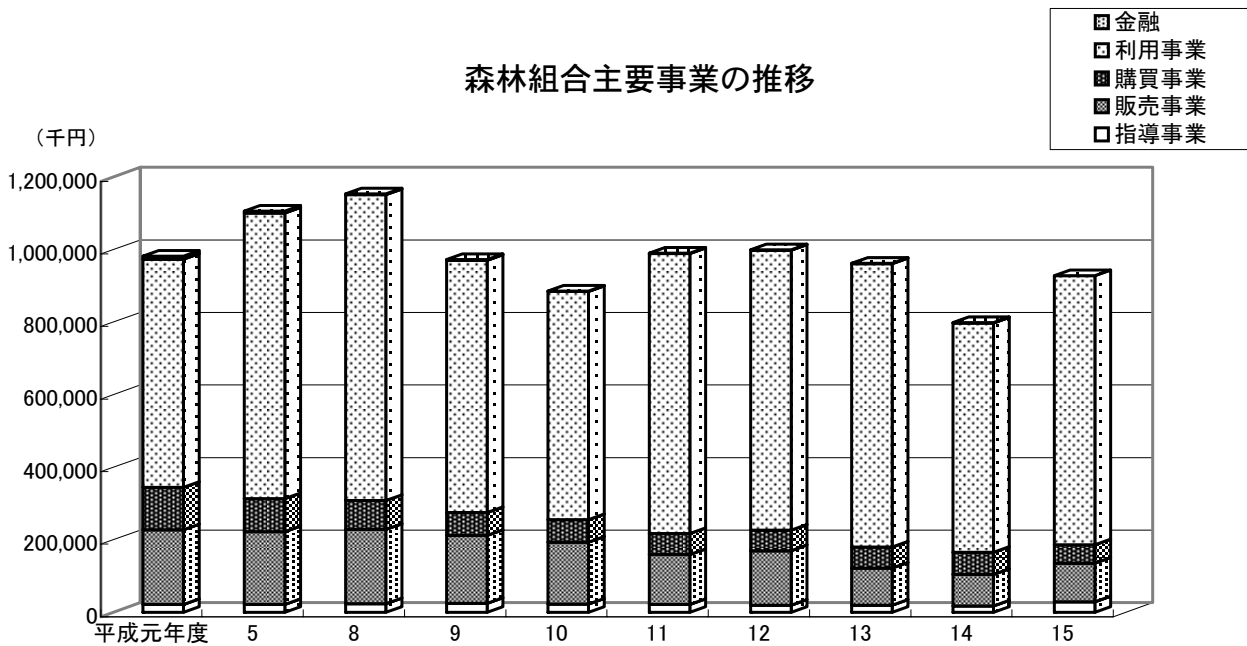
3. 林業経営と県営林

(1) 森林組合

経常利益と経常損失の推移



森林組合主要事業の推移



平成15年度末の活動組合は、19組合あり、組合員数17,280人で、1組合平均の組合員数は909人となっている。

また、地区内の森林所有者の加入率は28%で全国平均(49%—平成13年度末)より低い。組合員所有森林面積は40,339haで、私有林面積に占める割合は29%である。

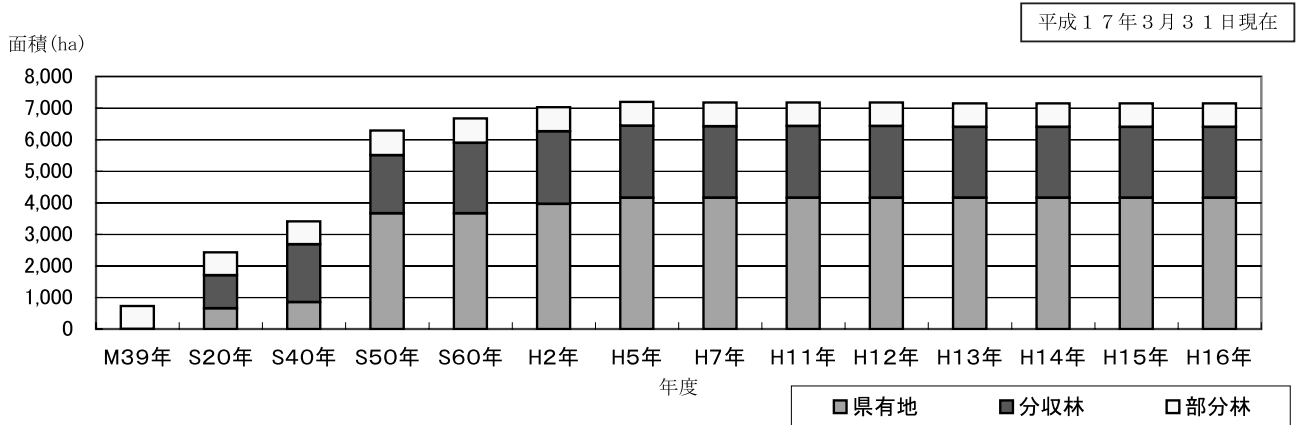
払込済出資金額は、128,401千円(1組合平均6,758千円)であるが、1千万円を超える組合は3組合に過ぎず、百万円以下の組合が8組合あり、組合間の経営規模、事業展開に大きな較差が生じている。

経常損失を計上している組合は5組合で前年度の7組合から2組合と減少したが、その損失額は4,440千円と増加した。一方、経常利益を計上している組合は、14組合16,942千円であり、1組合当たり1,210千円で前年度比30%増加した。

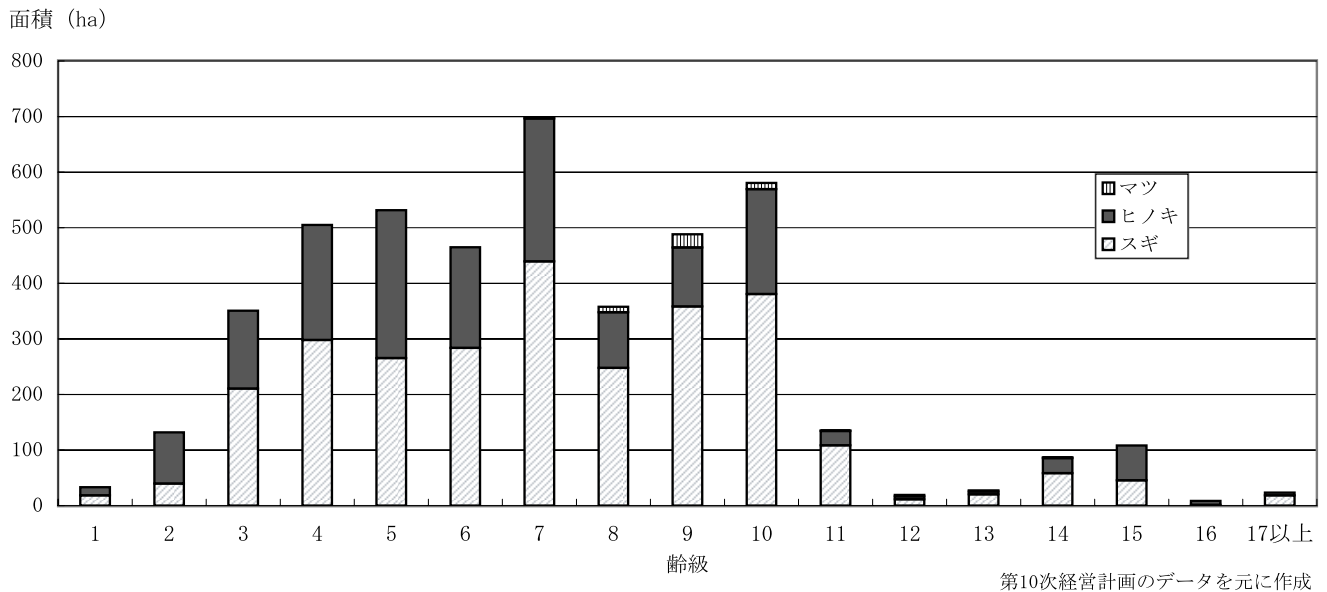
(2) 県 営 林

— 県営林の整備をさらに推進 —

県営林面積の推移



県営林の齢級別面積



県営林は、森林経営を通して、木材の安定的な供給、県土の保全、水源かん養等の森林の有する公益的機能の維持増進、地域の振興、県基本財産の造成等を行っている。大半は、県中南部に位置し、平成16年度末の面積は、7,147ha（県有林 4,158ha・分収林 2,240ha・部分林 749ha）で前年度より増減は無い。地域別面積は、安房・夷隅地区（南部林業事務所管内）2,873ha、市原・君津地区（中部林業事務所管内）4,251ha、長生・香取地区（北部林業事務所管内）22ha となっている。

造林面積は、16年度実績で 7.10ha(再造林 7.10ha)であり、保育は、519ha を実施した。また、林産物については、素材 1,413 m³ 等 を売り払い 16,672 千円の収入を得た。